



株式会社イシダ

本社：京都市南区西九条東比永城町  
75番地 GRAND KYOTO 3F  
TEL.:075-693-7107  
https://www.ishida.co.jp  
グループ従業員数：3,968名(イシダ単  
体：1,588名)※2022年3月決算  
創業：1893年5月  
設立：1948年10月  
主な事業内容：計量、包装、検査等、こ  
れらの技術をベースにした製品の開発と  
製造、販売、保守に関わる業務全般。

公式ホームページ

スキルアップのための  
支援も充実。文理問わず、  
向上心のある方をお  
待ちしています！



株式会社イシダ

経営管理本部総務人事課  
E-mail:ishida@s.axol.jp(全国共通連絡先)

## イシダの募集職種

### 文系

総務・経理・人事  
企画・マーケティング  
営業管理  
営業事務  
生産管理  
法務

### 理系

製品開発・設計  
営業技術  
要素技術研究  
品質保証  
生産技術  
調達エンジニア  
カスタマーエンジニア

### 文理

国内営業  
海外営業  
システムエンジニア  
社内SE  
営業アシスタント(外勤)  
知的財産

一人で仕事を任されたときに  
成長を感じました



SE部一課 | 田中 ちなみさん

2021年入社。大阪市立大学商学部卒。「1年目は  
研修で精一杯。でも2年目からひとりだちして、  
大きな仕事を任されたときに、自分の成長を感じ  
ました」。田中さんがシステムを手がけているのは、  
スーパーなどで価格表示を一括管理できる、電子  
棚札。補充や発注をしやすいよう工夫している。

成長したいという思いがあれば  
何歳だって成長できる

SE部次長 | 寺田 清一さん

物流業界を経て、2005年にイシダに入社。神戸大  
学経営学部卒。「何歳になっても成長に終わりは  
ありません。気づきがあれば、誰でもいつでも成  
長できます」。寺田さんが手がけて  
きたのは、食品の生産から配送、販売に  
関わる現場の機械を連動させるシステム。



IT技術を磨き続ける、輝く人は  
**自己成長**  
を大事にしている

仕事が楽しい! と話す社会人の共通点は「自己成長を大切にしている」こと。  
技術が日進月歩のIT業界では、なおさら成長への意欲が必要とされる。  
今回はイシダの文系出身ITエンジニア2名に、成長に必要なものを聞いてみた。

## CASE

### 2 ベテランSE 寺田さんの場合

もともと物流業界のITエンジニア部門を担当していた寺田さん。学生時代から興味があったモノづくり企業への憧れを捨てきれず、「自分たちのアイデアでよいものを作れるメーカーに入社し、それが業績にプラスになればやりがいにつながるはず」とイシダに転職した。

入社後は前職の経験が生かせる部署に配属となった。食品サプライチェーンとの仕事では生産地から食品工場、配送センター、そして小売店舗へと、食品流通におけるシステムのほぼすべてに関わってきた。それらの中でも「受発注や実績分析など、顧客の経営に関するシステムの運用におもしろさを感じます」と、マネジメントのおもしろさを話す。

成長のために努力していることは？という問いの答えは、「時間や場所を問わず、気になっていることを思い出し

創業129年、「食」の分野で世界トップレベルの技術力を誇る計量包装機器メーカー・イシダ。

顧客店舗や工場の情報管理システムの開発を担っているのがシステムエンジニア(SE)だ。今回は成長をキーワードに、若手とベテランに話を聞いた。

### CASE 1 入社2年目 田中さんの場合

「これからはどんな仕事でもITの知識が必要になる。パソコンを扱うだけでなく、その奥の仕組みを知りたい」と、商学部ながらIT業界に興味を持っていた田中さん。イシダは文系でもSEにチャレンジできることを知り入社した。SE部の同期7名中、文系出身でIT知識がないのは田中さんのみ。上司に勧められ、高校の「情報」の教科書での勉強から始めた。社内のIT研修を受け、先輩から体系的知識、ネットワークやセキュリティを学んだ。社内資格支援制度を利用してITパスポ

「私は自分で考えて作った仕事にやりがいを感じるタイプ。イシダは新しい発想を受容する風土があるので、業務で知識や経験を培いながら、自分で考えて意見を発信することを大切にしています」。

文系でITエンジニアとして活躍、成長する人の共通点は「好奇心」！  
自分の提案で食品業界に貢献できる



1ト、基本情報技術者の試験をクリアし、現在は応用情報技術者の資格取得に向けて勉強中。

2年目は関西から東京に異動となり、大手スーパーマーケットの電子棚札システムを担当。田中さんが、自分の成長を感じたのは大きなミスをしてしまったときのこと。プロジェクトメンバーや上司は「田中さん個人のせいではなく、ミスが起こりやすい手順のせい」と、再発防止の手順を仕組み化。田中さん自身は気づいていなかったが、仕事を任されたからこそ起きたミスに、周囲は確実な成長を喜んでくれた。今、田中さんの目標は、顧客の利益や満足度を上げるために自身で提案ができるようになること。

寺田さんの目標は、後輩であるIT人材の育成だ。「イシダの主軸は機械製造ですが、機械とITシステムを組み合わせて顧客の課題を解決するの得意。食品や物流業界の発展に貢献するためには、腕とカンの良いSEの存在が必要不可欠です。理系はもちろん、文系でも活躍している人はたくさんいます。ものづくりに興味のある人にぜひ来て欲しいですね」。

今はともに働く若者の成長がなによりもうれしいという。後輩社員からの「寺田さんのようなSEになりたい」という言葉を噛み締めながらも「評価に見合うようまだまだ成長を続けたい」と、歩みを続けている。